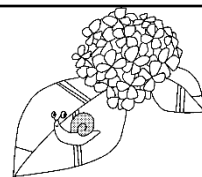


《学校教育目標》みんなで認め合い、学び合い、やりぬく本牧の子



横浜市立本牧小学校

# 学校だより



令和8年度 6月号

## 「えみたか」に込めた願い

校長 高田 麻里

真夏のような暑さを感じる日もあり、夏の足音がすぐそこまで迫っているようです。明日はいよいよ「えみたか全校遠足」です。準備を重ねてきた子どもたちの姿が、今から目に浮かびます。さて、「えみたか」という言葉の意味をご存じでしょうか。

「**え**がおで**み**んなで**た**のしく**か**かわろう」

この四つの言葉の頭文字を合わせたものが「えみたか」です。本校が大切にしている縦割り班活動の名称であり、子どもたちに目指してほしい姿そのものを表しています。1年生から6年生までが一つの班となり、6年生を中心に年間を通して異学年交流を行っています。

この活動には、学年ごとの授業だけでは得られない、大切な学びがあります。6年生や5年生の中には、リーダー役に苦手意識をもつ子もいます。それでも、グループの中で互いに支え合いながら、リーダーとしての経験を積んでいきます。「どう話せば1年生に伝わるだろう」「どうすればみんなが楽しめるだろう」そう考え、工夫し、行動する中で、責任感や相手を思いやる心が自然と育まれていきます。

一方、下学年の子どもたちも、上級生の姿に触れながら、仲間としての在り方を学んでいきます。上の学年と下の学年が互いに影響し合い、ともに成長していくこと、それが「えみたか活動」の大きなねらいです。

今月18日に行われた第1回「えみたか活動」では、6年生が緊張しながらも他学年に優しく声をかけ、自ら関わろうとする姿が印象的でした。振り返りの中には、「全校遠足の説明をしていると、質問をしてくれて、頼られている感じがして嬉しかった」という言葉もありました。下学年に頼られることで芽生える誇りと自覚、「えみたか活動」の意義が、この一言に凝縮されているように感じます。



5月18日「えみたか活動」  
こんな一場面が見られました

「えがおで みんなで たのしく かかわろう」——そんな一日となることを願っています。